

第12期
事業報告書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第12期事業（2020/4/1～2021/3/31）について

当年度神奈川県では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言期間中での新年度スタートとなりました。昨年末からは感染の再拡大となり、年明け早々から3月9日までの期間で2度目となる緊急事態宣言が発令され、衛生管理や感染予防対策を講じながらの業務に努めて参りましたが、未だ大きな好転の兆しは見え、長期にわたり感染者対応に尽力される医療従事者の方々には、改めて深く感謝と尊敬の意を表します。

経済環境面では、移動や外出の自粛、イベント開催や渡航制限等が実施され、対面サービスの需要急減は東日本大震災のような災害や世界金融危機のような経済ショックとは異なる、全く新しい種類の経済危機として、まだまだ先行き不透明な状況が続いています。

生活環境面では、新しい生活様式の実践がすっかり定着した日常となりましたが、テレワークをはじめ、オンラインでの会議や営業活動などの新しい構造は、人口（少子化）問題のような日本社会が中長期的に当面している問題に対しても、同時に変革が成されているように感じています。一方で、周囲のサポートが不可欠な盲導犬ユーザーや視覚に障がいのあるの方々にとっては、「匂いや音などの道しるべが分かりにくくなった」「物に触れることをためらう」「ソーシャルディスタンスを保てない」など様々な悩みや困難に直面していることが分かり、【ひじを持ってもらう代わりに少し前を歩いて声で誘導する】【店の消毒液の設置場所を教える】【レジ待機列の進み具合を教える】など、SNSをはじめWEBニュース、新聞など18のメディア媒体協力の元、コロナ禍における声かけの方法について、継続した発信にも取り組んで参りました。スタートから4年が経過した「声かけパンフ」の配布は累計で63万部を達成し、次なるステップとして100万部の配布数を指標に掲げています。

また春先のマスク供給不足時には、視覚障がい者が衛生用品を優先的に入手、または購入できる手立ても無く、取引先企業と連携した不織布マスクの商品化に成功。運営する「盲導犬生活サポート SHOP」に登録のある盲導犬ユーザーの方々へ優先的に提供し、取引のある法人先へも社内向け配布用として可能な限りの希望数を迅速にお届けしました。その後、盲導犬ユーザーには当該不織布マスクを定期的にプレゼントするなど、活動に賛同くださる多くの方々の応援のもと、このコロナ禍の1年を従来と変わらぬ規模且つ、これまで以上の安心で安定したサポート事業として継続することが出来ました。

現在も先行きの見えない危機の中、この1年の活動教訓を踏まえ、人と人の繋がりや、物、アイデアなど、この先の未来の姿を思い描き、環境に応じた「みつけた！私にできること。」を、皆さまと一緒に引き続き一生懸命に取り組んで参ります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。
それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

- (1) 神奈川、仙台、富士宮、島根（計4店舗）で商品販売を行った。
 - (i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売
 - (ii) 日本盲導犬協会へ犬具/フード販売、需要に応じた情報提供
 - (iii) 共同訓練中ユーザーへの犬具紹介と販売
 - (iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売
 - (v) 施設外イベントでの一般チャリティーグッズ販売
 - A) 主催イベント
 - ・レトリバー交流会 in 仙台（宮城県）1回開催
 - B) 日本盲導犬協会主催イベント
 - ・コミックシティ東京2回
 - C) その他社内販売、地域団体、取引先イベント
 - ・日本盲導犬協会支援企業での委託販売2回
 - ・ライオンズクラブ国際協会所属地域団体イベントでの委託販売1回
 - (vi) 新型コロナウイルス感染拡大防止による期間中の休店及び閉店
 - ・富士宮店 休店：2020年3月1日～2020年6月14日
2020年12月23日～2021年4月2日
 - ・島根店 閉店：2021年1月19日
- (2) その他販売活動を行った。
 - (i) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）
 - (ii) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）

2019年10月の税制改革から提供方法と処理に判断のつかない場面がある為、税率改正施行と同時に飲食提供終了
 - (iii) 関西、中部、北海道、いばらき盲導犬協会、日本ライトハウスへの犬具販売
 - (iv) 日本介助犬協会へのドッグフード販売
- (3) 日本盲導犬協会主催イベント補助

日本盲導犬協会が主催するイベントの運営協力、及び商品の協賛2回

オンラインボランティア懇親会（神奈川）

ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛
- (4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

 - (i) 募金箱発送業務（仙台）
 - ・発送依頼を専用サイトで受注、発送完了報告までを管理518件
 - ・返送された募金箱の処理、返送報告
 - ・募金箱に関するすべての在庫資産を棚卸管理
 - ・その他特殊発送対応

- (ii) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務
 - ・ 胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス
 - ・ 協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告
 - ・ ハンドルとの結合部分摩耗に於ける、ハーネス胴輪 D カンの強度改良
結合部分金属同士の擦れによる、D カン破損事例発生。使用時の損傷原因による D カン破損及び万が一の事故を防ぐため、D カンの摩耗が見られるユーザー使用分及び全ての未使用製品を改良後の仕様に交換した。尚、摩耗が見られない使用分に関しても交換希望者への交換対応を順次行った。
 - ・ D カン改良後の新仕様ハーネス胴輪販売開始
 - ・ 日本盲導犬協会が使用推奨するバーハンドルハーネス（※1）の販売開始
（※1 人間の関節可動域に配慮した、使用者が負担なく握れるハンドル）
- (iii) パピー委託に伴う犬具準備
 - ・ パピーウォーカーがパピー飼育に必要な犬具の準備
- (iv) その他
 - ・ 盲導犬ユーザーが希望する犬具の開発及び商品の安価提供
 - ・ 縫製内職ボランティアへの盲導犬専用コート、敷物の縫製作業依頼の調整及び材料の調達
 - ・ 盲導犬専用コートのサイズ直し、修理の対応、調整
 - ・ 飼育や犬用品に関する情報発信（メルマガにて月 2 回程度）

(5) フード事業

- (i) 日本盲導犬協会フード支援制度
 - ・ 所属する盲導犬ユーザー及び飼育ボランティアの登録、管理
 - ・ 利用者推移及び利用フード情報の報告
 - ・ 指定フード及び飼育用品の販売
- (ii) 関西盲導犬協会フード支援制度
 - ・ 所属する盲導犬ユーザーの登録及び利用フード情報の報告
 - ・ 指定フード及び飼育用品の販売
- (iii) その他販売
 - ・ 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへフード及び飼育用品販売
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大によるマスク品薄時期（4 月）に、購入が難しい盲導犬ユーザーへのマスク提供を開始。全国多くの盲導犬ユーザーへ届けた。
- (iv) ドッグフード在庫
 - ・ 欠品や災害等有事に備え、利用者のフード約 500 袋常備した
 - 仙 台（約 370 袋）：アィムス、ユーカヌバ、アボダーム
ニュートロ、プロプラン、ロイヤルカナン、ヒルズ製品
 - 神奈川（約 120 袋）：ホリスティックレセピー、ヒルズ、プロプラン
ロイヤルカナン製品
 - 富士宮（約 10 袋）：ユーカヌバ、ロイヤルカナン製品

2. 法人営業

(1) チャリティーグッズ大口受注

企業、学校、保育園、ボランティア団体、また盲導犬ユーザーへ向けて、販促品、記念行事での景品、イベントでの販売用、ユニフォーム、社内備品等において盲導犬チャリティーグッズの活用提案及び販売を行い、各々のニーズに応じた盲導犬普及活動へ寄与した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市場品薄となった不織布マスクを確保し、不足している必要な先への販売を行った。

三信商会、新日本カレンダー、VG すずめ、ネットワーク、サニクリーン
荻窪法人会、盛岡ペットワールド専門学校、フォレストモモ、他全 61 社

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人へ向けて、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、付加価値のあるオリジナルデザインのチャリティーグッズ制作により、営業販促品、ユニフォーム、カレンダーを使った企業 PR、社会貢献活動 PR 提案を行った。

全国の企業、法人、販売店等より、盲導犬とのコラボデザイン商品の受注、デザイン業務、商品の手配、製作を行った。

小泉、平和会ペットメモリアル、MIKI-500、エムエム建材、オンデーズ
相模鉄道、エレテックコーポレーション、他全 32 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

チャリティーグッズの販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。新規 15 店舗を含む全 182 店舗

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート SHOP」カタログの広告スポンサーを獲得した。紙媒体による企業 PR の場を提供し、スポンサー企業商品の販売拡大を図った。

平和会ペットメモリアル、アスク、三信商会、ネスレ日本、国泰ジャパン
ハイメン、フォレストモモ、みやぎきタオル、他全 24 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じて、設置配布先を開拓し「声かけパンフ」の広範な配布活動に寄与した。

スポンサー：小泉、オンデーズ、サンギ、泉屋東京店、桜井ホンダ、いなげや
共立メンテナンス、静岡県獣医師会、他全 84 社

設置配布：全東急ストア労働組合、明電舎労働組合、大相模動物クリニック
柴田町社会福祉協議会、広島電鉄、東小金井ペットクリニック
他全 46 カ所

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、相手先販路での商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画実現へ貢献した。

サンギ、ハーモニック、国泰ジャパン、ベリー、we、日本ランズエンド
三信商会、泉屋東京店、TRYL、他全 30 社

(7) 支援、協力業務

(i) 日本盲導犬協会への支援業務

- ・企業からの現金寄付を誘導（ジェイノベーション）
- ・受け入れセミナーパンフレット「盲導犬といつも一緒に」冊子の製作

(ii) 日本介助犬協会への支援

- ・介助犬フェスタ 2020 への商品協賛

(iii) 関西盲導犬協会への支援

- ・職員用ユニフォーム、盲導犬 PR コートの製作

(iv) いばらき盲導犬協会への支援

- ・パピー、訓練犬用 PR コートの製作

(v) 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科への協力

- ・「ICT 活用とプロジェクト演習」課題授業への盲導犬に関わる情報提供、監修
協力

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| ・2021 年盲導犬チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 67,880 枚 |
| ・2021 年補助犬応援団カレンダー | 発行部数 | 3,000 部 |
| ・2021 年うちの子チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 3,450 枚 |

(iii) 催事出店

マルイ中野店において、商業施設での理解促進と普及推進を目的とし、催事出店によるチャリティーグッズの販売を行った。

マルイ中野店（9 月、2 月 全 2 回）

(iv) 募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>
会員数：42,167 人（昨期比 2,799 名増）
チャリティーグッズの販売、応援プロジェクトを展開した。
- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>
会員数：2,762 人（昨期比 163 名増）
全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・犬具及びドッグフードの販売を行った。また、盲導犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供を行った。

(2) 季刊カタログの発行

(i) 4 月：盲導犬サポート SHOP Vol.57 20p

・T シャツ祭り！企画

半袖 1 枚で過ごすことが多くなっていく季節こそ、盲導犬応援デザインを身につけて、周りの方にも応援の輪を広げてほしいとの願いから、7 デザインの様々な T シャツを発売。

・声かけパンフ 50 万部の配布目標を公言

「当事者意識」「面白く読める」をテーマに、イラストで分かりやすく表現。次なる目標を大きく表現をし、応援下さる方々と一緒に目標達成したいことを訴求した。

(ii) 7 月：盲導犬サポート SHOP Vol.58 20p

・盲導犬応援プロジェクト支援に多彩なコースを設定した企画

盲導犬応援プロジェクトに参加してもらうため、オリジナル商品を 5 コース展開。参加者には「もうどう犬エルくんのミニ絵本」を一緒に届けた。絵本の内容は、「エルくんムービーショー」の中から厳選した。

・オリジナル刺しゅう入り今治タオルマスク

新生活様式によるニーズと合致し、3 か月で注文数合計 1,500 枚を超える大ヒット商品となった。

(iii) 10 月：盲導犬サポート SHOP Vol.59 20p

・カレンダー&ダイアリー特集

恒例のチャリティーグッズ、カレンダーやダイアリーを発売。卓上カレンダーは、お年賀需要を見込んだ「ギフトバッグ付き 3 冊セット」が好評を得た。

・泉屋東京店コラボ「泉屋クッキー缶」新柄登場

盲導犬に加え、他犬種も描かれた缶全面へのデザイン仕様。愛犬家など、より多くの方々からの需要を受け、3 か月合計で 2,500 缶を超える受注となった。

・コロナ禍における声かけ方法

新型コロナウイルスの影響で、以前のような「盲導犬ユーザーへの声かけ」に対し、迷う方が増えていることを受け、コロナ禍においてもお手伝いは変わらず

きることの例をあげて紹介。「ちょっとした配慮」を追加し作成、発信した。

(iv) 1月：盲導犬サポート SHOP Vol.60 20p

・盲導犬サポート SHOP ファンクラブ第五期募集

前年 600 名程の申込みとなったファンクラブを継続して募集。入会特典の T シャツとピンバッジは、発足 5 周年を記念としたデザイン。「お買い物以外でも応援したい」という声にお応えする為に誕生したファンクラブでありながら、「お買物が好きだから」「盲導犬ユーザーとのイベントが楽しみだから」等、ここ数年は入会の理由も多岐に渡っている。

・声かけパンフ配布 50 万部の早期に達成報告と、次なる目標を提示。

1 年間の軌跡を辿りながら、次なる目標である 100 万部配布へのさらなる協力を訴求。100 万部配布のその先は、声かけが当たり前の日常になり、盲導犬と盲導犬ユーザーが安心安全に、そしてもっと気軽にどこへでも出かけられる社会になることを目指す。

(3) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

・「声かけパンフ」総配布数：633,918 部（前期までの配布数：353,537 部）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かる A6 サイズの冊子を、広く配布し声かけを広める。ユーザーからは、声を掛けられることが増えたとの嬉しい意見を多く頂く一方で、「信号の色が分からず困った」「気づいたら車道を歩いていた」等、まだまだ課題を感じる声も多い。更に広く配布していく為、配布数 100 万部の達成を目指し、活動により力を入れていくことを決定した。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

・声かけパンフ

ナチハマ、ジェイノベーション、みなみ企画、小川工務店、泉屋東京店、吉徳日新印刷、we、サンギ、東洋化学商会、花の店 山ぼうし、ハイメン、トライムうちの子事務局、荻谷動物病院グループ、ヌーヴェル・ヴァーグ、ジャイブスイートルーム、グローバルオートグループ、OFFICE ELLA、peekaboo 山梨てくてく保育園、ビタミン・ハウス、フジスター、フルハウス、香蘭社、キャブ盛岡ペットワールド専門学校、伊豆ドッグペンション ことぶきベース、大丸屋アニー動物病院、オカダジーエージェイ、服部年金企画、桜井ホンダ、小泉フォレストヒルズ、J.P. モルガン、ゆみ動物病院、エース企画、スリーケーアサヒビルドイノウエ、Honda cars 香取西 佐原店、相模鉄道、杉山動物病院東京亀有ライオンズクラブ、アブラヤ、高松南ライオンズクラブ、エイアイ企画アクセス、静岡県獣医師会、ドッグガーデン ペスカオンデーズ、ビクセン東京虎ノ門ライオンズクラブ、ピーアンドディーヒロサワ、共立メンテナンスしろくま歯科◇矯正歯科、紙工芸やまだ、税理士法人土田会計事務所、共進建設エムフレック、エレテックコーポレーション、秦野丹沢ライオンズクラブ

水上自動車興業、水上歯科医院、天間建設、君津ライオンズクラブ、ヤマト電機
ハーネスクラブ、喫茶とりの巣、ロータリー、山下商事、いなげやグループ
オブラブ、日本女子大学人間社会学部、フォレストモモ、島根県獣医師会
ビューティ・ハーモニー、スタイル、ベストエバージャパン、奥本いろは堂
東京スバルライオンズクラブ、オールフォーエスピー、MIT、三信商会

・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッカー。410枚がユーザーの手で全国の様々なお店へ配布された。

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬の提供：累計 680 個
- ・物品寄付：ドッグフード 204 kg、その他犬用品：人工芝 2 枚、ベッド 14 個

(iii) 優しい未来を届けよう！BIG エルくんプロジェクト

子供達にエルくんのぬいぐるみを届け、小さい頃から盲導犬に親しんでもらうことで、盲導犬ユーザーと盲導犬に優しい社会を目指す。

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載
- ・通販サイト
チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>
ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 17,495 名 (前期 15,771 名)

オススメチャリティーグッズ情報配信
犬と暮らす方へ向けた情報の定期配信
プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 7,101 フォロワー
<https://twitter.com/goguidedogs>
- ・Twitter：もうどう犬エルくん 9,359 フォロワー
<https://twitter.com/moudoukenLkun>
- ・Instagram：盲導犬サポート SHOP 7,398 フォロワー
https://instagram.com/goguidedogs_design
- ・Facebook：盲導犬応援団 Go!Guide Dogs 10,362 いいね！
<https://facebook.com/GoGuideDogs>

D) SNSでの発信強化

- ・声かけパンフ 50 万部配布達成後の社会や人々の変化をとらえるため、SNS で声かけにまつわるエピソードを募集

2020 年 12 月 3 日の「国際障がい者デー」をスタートとして、11 日まで声かけを広げる配信をした。3 企業と動物病院様に声かけパンフの活用法をインタビューし、それを事例として、一般の方から声かけエピソードを募集。多くのエピソードが集まった。「#広がれ声かけの輪」の関連ツイートは、延べ 7,000 名以上の方にご覧頂いた。

- ・WEB 限定販売商品「心つながマグカップ」

マグカップデザインに込めたストーリーを YouTube 動画で配信、予約のみの限定販売を実施。2 週間限定にも関わらず、500 個以上の予約となった。

- ・コロナ禍の声かけ方法

広報部長「もうどう犬エルくん」が、Twitter でコロナ禍での声かけについてツイート。多くの反響から、各社メディアでも取り上げられた。

ツイート数：2.8 万 引用ツイート数：435 件 いいね数：3.3 万

いずれも共感を呼び、新たな方へ応援の輪が広がる好例となった。

(ii) メディア掲載

期間	紙面掲載	内容
2020. 8. 6	Buzz Feed News	転落事故を再発させないために、あなたができる事
2020. 11. 10	grape (グレイプ)	新生活様式での声かけ方法
2020. 11. 11	ツイナビ	新生活様式での声かけ方法
2020. 11. 12	NHK 総合首都圏ネットワーク	新生活様式での声かけ方法
2020. 11. 23	Hint-pot	新生活様式での声かけ方法
2020. 12. 2	FNN プライムオンライン	新生活様式での声かけ方法
2020. 12. 10	北海道新聞	新生活様式での声かけ方法
2020. 12. 15	CREA (クレア)	泉屋クッキー缶 (赤缶) 掲載
2021. 1. 12	朝日小学生新聞	声かけを小学生にもわかりやすく訴求
2021. 1. 25	Buzz Feed News	新生活様式での声かけ方法
2021. 2. 1	ネットニュース「ねとらぼ」	新生活様式での声かけ方法
2021. 2. 3	Buzz Feed News	関連記事
2021. 2. 8	JR 九州サービスサポート株式会社	社内報にて声かけイラストを掲載
2021. 2. 12	NHK NEWS WEB	声かけイラストを掲載
2020. 2. 22	読売新聞	視覚障がい者の声かけ例を掲載
2020. 2. 28	東京新聞	ひと言の声かけで心の距離を縮めよう
2020. 2. 28	点字毎日 (点字版)	新生活様式での声かけ方法
2020. 3. 4	点字毎日 (活字版)	新生活様式での声かけ方法
2020. 3. 4	全東急ストア労働組合	機関紙にて声かけイラストを掲載

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和3年3月31日時点）

理事…4名、顧問…1名、監事…1名、社員…4名、パート…17名
育児休暇：社員…1名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及びOperation MTG

開催日：毎月第4週1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：4月、6月、8月、2月

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

(ii) ステアリング committee

開催日：毎月第4週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和2年5月27日

第1号議事：事業報告及び決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議事：新理事選任に関する件

就任理事 下村 秀博

3. 寄付金

日本盲導犬協会

現金：1,000,000円（累計額：13,477,737円）

物品：106,277円 41点

4. 他会計（非営利事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う催し自粛により、特定フード寄付の活動のみを行った。（日本自動車販売協会連合会 神奈川県支部寄付分）

■ 収入：343,230円

A) 個人寄付：5件 264,000円

B) 法人寄付：1件 39,230円

C) その他：1件 40,000円

■ 支出：76,220円

A) 活動費：76,000円

B) 管理費：220円

C) その他：0円

■ 収支計：227,010円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 34,466 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)	5月5日	4,000
		7月27日	50,000
		8月2日	50,000
		8月17日	100,000
		10月24日	10,000
		3月1日	50,000
	法人	モンベル (株ベルカディア)	39,230
その他	入金		0
	振替	一般会計からの借入金	40,000
当期収入合計			343,230

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	220
	旅費交通費		0
	会議費		0
活動費	特定フード	3回	26,000
	被災犬	1回	50,000
	盲導犬ユーザー		0
その他	返金		0
	振替	一般会計への返済金	0
当期支出合計			76,220

次年度繰越金額： 301,476 円